

本宮小学校第二校舎が完成

特別教室を設置して 3月4日から利用開始

昨年7月から進めてきた本宮小学校第二校舎の改修工事が完了し、3月4日から利用を開始しました。

第二校舎は昭和46年に建築されたものですが、耐震補強や床、壁、天井などの改修を行い、再び子どもたちの声がこだまする校舎へとよみがえりました。

理科室、家庭科室、音楽室などの特別教室に改装され、設備の更新や準備室の確保をしたほか、身体障がい者用トイレや防犯カメラの設置など、教育環境の向上を図りました。何よりも日差しが差し込んだ室内は明るく、新しく生まれ変わったようです。



改修が終了した、本宮小学校第二校舎

第二校舎改修工事

事業の概要

・耐震壁の設置、校舎大規模改造

総工事費

・約2億3,260万円

◆問い合わせ先

教育総務課 教育施設係 (☎内線244)

**2年後には
校舎全体が新しく
生まれ変わります**

本宮小学校改修工事
本宮小学校の改修工事がいよいよスタートします。
平成20年度から2カ年計画で改築が行われ、新しい校舎に生まれ変わります。
工事は、現在の職員室や特別教室が配置されている第一校舎を解体し、その跡地に二棟の校舎を建設します。
平成21年12月頃までには新校舎が完成する予定です。
その後、外構と低学年用グラウンドの整備が行われ、平成22年度内にすべての工事が終了する予定となります。

**2年後には
校舎全体が新しく
生まれ変わります**

平成20年度

遠藤輝雄奨学生の募集

遠藤輝雄奨学金は白沢地区出身の遠藤輝雄さんが創設された基金で、教育の機会均等を図り、健全な社会の発展に貢献することを目的としている基金です。

「能力があるにもかかわらず、経済的理由により就学困難と認められる方」に対し、奨学金の貸与を行う奨学生を募集しますので、どうぞご利用ください。

●募集期間

5月1日(木)～
6月30日(月)

●応募資格

高等学校(県内)、または、大学等に在学し、品行方正で学術に優れ、身体が健康で経済的理由により就学が困難な方

●募集人員および 奨学生の種類

- ① 大学・短大奨学生 (平成20年度入学者) 若干名
- ② 高等専門学校奨学生 (平成20年度入学者) 若干名
- ③ 高等学校奨学生 (平成20年度入学者) 若干名

●貸与額(月額)

学 校	公立・私立	奨学金の額
大学・短大奨学生	国・公立	35,000円
	私 立	40,000円
高等専門学校奨学生		35,000円
高等学校奨学生	国・公立	15,000円
	私 立	18,000円

◆申し込み・問い合わせ先

幼保学校課 学校教育係 (☎内線246)



高木地区敬老会より

高齢者のみなさん 4月から新しく後期高齢者 医療制度が始まりました

4月から、これまでの老人保健制度に変わり、新たに「後期高齢者医療制度」が始まりました。
今月号では、この制度の主な内容についてお知らせします。
なお、広報とみや平成19年11月号にも制度の内容が掲載されていますので、ご覧ください。

後期高齢者医療制度ってなに?

75歳以上(一定の障害がある方は65歳以上)の方が新たに加入する医療保険制度です。
これまでは、国民健康保険や社会保険などの医療保険に加入しながら、老人保健制度で医療を受けていました。
4月からは、それらの医療保険を脱退し、「後期高齢医療者医療制度」で医療を受けることになりました。

被保険者になる方は?

- ◆対象となるのは……
- ① 75歳以上の方 (75歳の誕生日から)
- ② 65歳から74歳までの方で、一定の障害があり、広域連合の認定を受けた方

自己負担はどうなるの?

◆病気になるたときの自己負担は……
病気になるたときの医療機関窓口での自己負担割合や、受けられる給付は、今までの老人保健制度と変わりありません。
※各種手続き・高額療養費・標準負担額減額認定証・特定疾病療養受領証についても同様です。

保険料はどうなるの?

保険料は被保険者全員が納めます。これまで社会保険などの被扶養者として負担がなかった方にも、納めていただくようになります(2年間保険料が軽減される激変緩和措置があります)。
◆保険料の納め方
① 年額18万以上の年金収入がある場合は、年金から保険料が差し引かれます。
② それ以外の場合は、口座振替や納付書により市町村へ納めます。

■お問い合わせ

市民課 国保年金係 (☎内線126)

企業立地基本協定等を締結 関東運輸株式会社と 本宮市工業等団地へ進出



調印後、がっちりと握手を交わす
佐藤市長と細野代表取締役

主に食品の運送業務を行っている、関東運輸株式会社との「企業立地に関する基本協定」および「工業団地土地利用等協定」「工業用地譲渡契約」の調印式は、2月29日に市役所で行われました。
式では、細野勝年代表取締役と佐藤市長が署名を行い、協定書等が取り交わされました。
今回の進出は、現在、郡山市内にある物流センターが手狭になったことから、高速交通網の要衝である本宮市の工業等団地へ移転されるものです。これから、年内の操業を目指し、冷凍・冷蔵倉庫や事務所の建設が行われます。